

第1回我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針策定委員会 会議概要

1. 日 時：平成24年7月7日（土） 9時30分から11時30分
2. 場 所：議会棟第一委員会室
3. 出席委員：坂口委員/牛尾委員/荒井委員/石井委員/金川委員/倉橋委員
小林委員/近藤委員/佐々木委員/新保委員/鈴木委員/田島委員
多田委員/服部委員/早川委員/山家委員/吉田委員/吉村委員
渡邊委員
4. 欠席委員：上村委員
5. 事務局出席者：枝村市民生活部長/四家市民活動支援課長/渡辺主幹
小池主査長/浅海主任/岩上主事/渡邊主事
6. 会議内容
 1. あいさつ
 2. 委員自己紹介
 3. 事務局紹介
 4. 策定委員会の役割について
 5. 委員長・副委員長の互選について
 6. 傍聴要領の決定について
 7. 地域コミュニティ活性化基本方針について
 8. 策定委員会の進め方について
 9. 次回の日程について
7. 傍聴人及び発言者の数：傍聴人1人 発言者の数1人
8. 決定事項
 - ・委員長に坂口委員、副委員長に牛尾委員。（全会一致）
 - ・傍聴の手続き、傍聴できない者、会議を傍聴する場合に守るべき事項、傍聴人の発言、会議の秩序の維持について定めた傍聴要領を決定。なお、傍聴者の発言は認めることとした。（全会一致）

◆議事の内容

●委員長、副委員長の互選について	
事務局	策定委員会設置要綱では、委員長と副委員長は委員の互選によりそれぞれ一人置くことになっています。ぜひやりたいという方、また推薦される方がいればお手を挙げてください。
委員	事務局案があればお示しいただきたいのですが。
事務局	事務局といたしましては、委員長としては学識者で中立的な立場でいらっしゃる川村学園女子大学教授の坂口先生にお願いできればと思っております。また、副委員長といたしましては、今回の策定の前提となりました、総合計画審議会の委員でもありました委員、牛尾様にお願いしたいと考えております。
【全会一致】	
委員長	この度委員長を仰せつかった坂口です。我孫子市の補助金検討委員会を約10年していたので、事務局から選任されたのだと思います。私の専門は保健衛生学であり、皆様の高齢化社会等について研究しています。コミュニティについてプロではないので、皆様のお力をいただきたいと思っております。
副委員長	一般的に方針を決めていく際は、自分なりのグランドデザインが見えてくるものですが、この問題は課題が多すぎて描けないというのが実感です。しかし後から何度でも直せますし、深刻に考えず大きな流れが作れたらと思います。皆様の仕事をバックグラウンドとして、利益代表としてではなく、我孫子全体をどう見るかという立場で考えてもらい、新しい方針が見えてくればと思っております。
●傍聴要領の決定について	
委員長	今回の策定委員会では、審議会等の会議の公開に関する規則上、公募による委員が含まれていませんので、傍聴人の発言機会を設けなくてもよいことになっておりますが、この件に関して、ご協議お願いいたします。

委員	事務局の方に確認したいが、この委員会が開催されることは公開されていますか
事務局	ホームページ等で事前に公表しています。
委員	傍聴人が来るという想定はあるのでしょうか。
委員長	本日も来ていただいています。公開の場合、我孫子市では比較的来ていただけるようです。しかし、発言に関して機会を設けるかどうかいかがでしょうか。
委員	私も市議会の傍聴を何回かして発言したくなりますが発言はできません。このような場に来る方は、このような問題に関して関心がある方なので、長い時間を取るなどは別として、意見を聞いてもいいと思います。
委員	一般の市民がこの方針について意見を述べる機会があるか教えてほしいです。
事務局	この策定委員会だけでなく、5地区でその地域の自治会や地域で活動している団体に、地域の意見を直接聞く場を設ける予定です。自治会さんと地域で特別な活動をしている団体を対象に意見交換会をしたいと考えています。
委員長	それらの意見はまとめた資料としてもらえますか。
事務局	策定委員会にその都度ご報告します。
委員	私も傍聴人の意見陳述について、最後に意見を聞くのは問題ないと思います。●●委員も言っていたとおり、ここに来て意見を言いたいというのは何か問題提起をしたいということですので、もちろん採用するかどうかは別の話ですから、それらの発言に対して一定の制限をかけながら意見があれば聞くのもいいと思います。地域で意見を聞くというのは、公開というよりも決められた人たちを対象としていますよね。一般市民の方が意見を言うチャンスは、この策定委員会しかないのですから、開かれた会議にしておいたほうがいいと思います。皆様の意見として、そのような機会は必要ないという意見が多いのであれば、多数決で決めればよいと思いますが、私の意見としては以上です。

委員	傍聴人の方が話し合いの場を混乱させるのでなければ、意見は意見として聞いた方がいいと思います。
委員長	ご意見を伺うかたちでよろしいですか。
	【全会一致】
委員長	発言の機会を設けるべきということに決まりました。その条件は策定委員会傍聴要領に従うこととします。発言の機会は原則、会議の最後の終わる少し前に、発言のある方は発言していただくということによろしいですか。
	【全会一致】
●地域コミュニティ活性化基本方針について	
委員	基本方針を策定する段階で、スポーツ関係の団体や子どもの居場所づくりをつくる「あびっこクラブ」などが抜けてしまっています。設置要綱を見てみると、参考人だけでも呼べるのかと思ったが、そのような制度もありません。これらの団体はどこの時点で抜けてしまったのでしょうか。
事務局	策定委員会の委員さんの決定に関しまして、当初20名を委員さんのメンバーのキャパとして考えていました。その中で、地域別と分野別で分けました。地域別とは、地域で具体的に活動されている自治会、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員を想定して5地区からそれぞれ20名のうち12名選びました。その他に、分野別、学識という分野で8つの組織、防災・防犯、子どもネットワーク、市民活動ネットワークなど、地域にこだわらない分野で活躍しているところで選んでいます。特に意図的に外したわけではありません。当時われわれが策定委員会を立ち上げる中で、コミュニティに直接関わっている組織として意見を聞くことが重要だと考えた組織を想定してこのような形になったということです。
委員	庁内の話し合いの中で、生涯学習課からは意見が出てこなかったのか。総合型の地域スポーツクラブはスポーツ推進委員が一生懸命つくっている組織で、未熟な点はあるけれども、地域によっては非常に活性化しているところも

	あるので、そこからの意見は聞くべきだと思います。
事務局	今回策定委員会を選ぶにあたって、各課の意見を聞いて策定委員を決めたというわけではなく、市民活動支援課が中心となり、この基本方針を策定するに当たってどういった組織が必要かと考えた結果となっています。また、地区別意見交換会において、スポーツや学校を通じた地域コミュニティの意見は聞いていきたいと思っています。そこで呼び出す場合は十分配慮したいと思います。
委員	今回の委員名簿やスケジュールを見て不思議に思うのは、このコミュニティの問題において少子高齢化は最もインパクトとして必要なテーマだと思うが、一番肝心な高齢者を代表する組織がないのは非常におかしいと思います。私も所属していますが、我孫子市には「高齢社会の対応を探る会」という任意団体があります。このような組織の意見は最後の段階ではなく、早くに意見を聞く必要があると思います。今からでもスケジュールに入れていただきたい。
事務局	地区別意見交換会等で積極的にお声掛けをして、意見を聞きたい。
委員	意見をまとめてこの場に知らせるのが我々の仕事だと思うので、高齢者に関しては●●さんが意見をまとめてこの場に出してはいかがですか。
委員	自分が所属している組織を中心とした発言となってしまいます。
委員	テーマとしてあるなら、「こういう意見を聞いた」と展開するのが一番いいのではないか。
委員	高齢者に関する意見が必要なときは出します。
委員	それぞれの活動とか分野、立場のことが背景にありながら市として考えを出すのがわれわれの目標なので、それに対して自分たちの組織の利益代表として活動するのではなく、よりわたしたちが目となり耳となりいろいろな情報や状況を集めて出し合って検討していきたいと思っています。

委員	自分たちの所属する組織が望んでいることをむりやり入れ込もうとするとか、そういう立場ではないですよということを確認したいです。私であれば民生児童委員協議会で民生児童委員の活動を通じて考えた地域についての課題や意見を言って、その中でグランドデザインの中に生かせれば生かしてもらおうというかたちで、みんなで論議をするのがいいと思います。自分の組織について発言してはいけないというわけではないので、皆さんが活動の場で感じられている課題は多いに出してもらい、みんなで共有化しながら考えていくことが重要だと思います。
委員長	それぞれが所属しているところで意見を補いながら議論を進めたいと思います。
委員	コミュニティの活性化というものがそもそも漠然としている。これらをはっきりさせるためには、なぜこういうことをするのかという目的の部分について共通認識を持たないといけない。目的がだらけると議論もだらけてしまうと思います。もう一度事務局から説明していただきたい。
事務局	非常に難しい課題でなんとなくわかるがなんとなくわからないというのが、コミュニティの活性化という問題です。究極的なことを言えば、安全で安心な生活をしていることが活性化ということであり、祭りが多とかそういうことではなく、地域のみんなを地域で見守っているという状態が自然に出来上がっていることが地域の活性化だろうと考えています。次回、コミュニティに詳しい先生をお招きして、皆様と共通認識を持つための勉強会を開きたいと思っています。すぐに課題を出して議論をするのではなく、段階的に進めていきたいと思っています。
委員	まちづくり協議会の検証というものを具体的に進めていくことである程度絞れてくるとと思いますが、自治会へのアンケートというのが頭に浮かんでこない。今度、先生を呼んでお話を聞いていくなかで考えていったらいいの

	かなと思います。質問は、地区別意見交換会は、地区を分けて各 1 回となっていますが、対象となっている人数のバランスは考慮されていますか。
事務局	我孫子と新木を比べると、相当の差が出てきてしまうとは思いますが、それはやむをえないと思っています。
委員	たとえば近隣センターを単位に分けるなど、他に分け方はあると思います。人数のバランスが大きく違う中でやってしまうと、意見の重みが変わってきてしまうと思います。
事務局	これから検討していきたいと思っています。
●次回の日程について	
	第二回策定委員会は、7月28日（土）9時30分から12時に決定。第三回策定委員会は、9月8日（土）9時30分から12時に決定。